



新潟市立月潟小学校 学校だより 第8号 令和6年12月11日

想像力を育むことの大切さ

教頭 三浦 美也子

早いもので、もう令和6年が終わろうとしています。先日の「月小祭り」では、子どもたちの豊かなアイデアのもと、楽しいお店が並びました。私は、準備の段階からどんなお店になるのかワクワクした気持ちでおりましたが、当日は、1店1店、個性のある素敵なお店になりました。

さて、今回は「想像力」のお話です。今、世の中はAI（人工知能）の時代とされています。AIは、膨大なデータを基に、ある程度の予測や判断を行うことができます。しかし、全く新しいものを生み出す、つまり「創造する」ことは、今のところ難しいことだそうです。

では、なぜ想像力が大切なのでしょう。それは、想像力が、私たち人間にしかできない「未来を創り出す力」だからです。

想像力を育むためには、普段の生活の中で意識的に様々なことに取り組むことが大切です。例えば…

・読書

本の世界は、私たちを未知の世界へ連れて行ってくれます。様々な登場人物の気持ちになり、彼らの視点から物事を考えることで、想像力は豊かになります。

・絵画や音楽

絵を描く、音楽を奏でるといった活動は、自分の頭の中にあるイメージを形にすることで想像力を豊かにします。

・プログラミング

プログラミングは、自分の考えをコンピュータに伝えるための言語です。論理的な思考力だけでなく、新しいものを作り出す楽しさを味わうことができます。

・ディベート

異なる意見をもつ人たちと論議することで、多角的な視点から物事を考え、自分の意見をしっかり伝える力が養われます。「もし、こうだったらどうだろう？」という問いを立て、様々な可能性を想像する力を身に付けることができます。

想像力は、単に空想を膨らませることではありません。それは、「人の気持ちを慮る（おもんばかる）力」「未来を創り出す力」であり、これからの社会を生き抜くために不可欠な力です。学校でも、自分の想像力を信じて、未来を創り出す創造的な人間へ成長していけるよう活動に取り組んでまいります。



子どもたちの様子

<10月26日(土) 月潟小・中合同文化祭「月輝祭」>

今年度から、月潟中学校区で合同文化祭を行うことになりました。月潟中の生徒会から合同文化祭に向けた新しいネーミングの提案があり、月潟小のアイデアも取り入れてくれました。投票の結果、「月輝祭」に決定しました。当日は、小学生の絵画作品を月潟中に展示しました。また、月潟中の皆さんの合唱発表を聞くことができました。とても新鮮な気持ちで楽しめました。今後の行事の新しい柱となりそうです。



<11月12日(火) 学習参観・PTA教養文化部講演会>

今年度4回目の学習参観がありました。後期に入って1か月ほどが経ち、それぞれの学年が落ち着いた雰囲気です。参観の後には、PTAの役員の方々の計画による講演会が行われました。眠りの大切さについて、講師の方をお招きして、体を動かしたりクイズに答えたりしながら楽しくお話をお聞きすることができました。



<12月6日(金) 月小祭り>

子どもたちが待ちに待った月小祭りがありました。開会式では、スピードパスポートの抽選が行われ、盛り上がりました。ふれあいタイムでは、今年から2年生も出店にチャレンジすることになり、より様々な工夫のある出店を楽しむことができました。保護者の皆様にも多くのご来校をいただき、ありがとうございました。



欠席の際の授業対応について

今月に入り、かぜや感染症などによる欠席の人が増えてきています。具合のよくない場合は、早めに休んで体調を整えてください。感染症などによって出席停止になった際、熱が下がり体調もよくなっている場合は、ご希望があればZoomでの授業対応を可能とさせていただきます。その際は、安心安全メールや電話などで学校までお知らせください。Zoomについては、授業時間全てではなく、担任が対応できる時間が対象となることをあらかじめご了承ください。よろしくお願いいたします。